Sanriku-geopark
さんりく ジオだより
第80号
令和4年3月号
三陸ジオパーク推進協議会

地域の歴史から教わること

昨年12月に三陸ジオパークエリアを縦断する三陸沿岸道路が全線開通しましたが、その工事区間では着手前に埋蔵文化財の調査も数多く行われてきました。

また震災復興工事においても、土地の造成（嵩上げなど）工事の前には遺跡発掘の調査があり、それらの調査には地元の方も含めたくさんの人が携わり、出土品や遺跡の見学会なども各地で開催されました。発掘した遺跡は工事のために埋め戻されており、見学会に参加した皆さんは、その地域の歴史や文化に直接触れることのできた貴重な立会人となりました。岩手県内では約80か所の遺跡調査区があったそうです。

復興道路として急ピッチで進められた沿岸ではこのような大規模な発掘調査が行われたのは初めてのことでしたが、そのうち野田村では道路工事の関係で４か所、宅地造成関係は３か所ほどの調査があり、そのうち「伏津館跡」は縄文時代の狩場（陥し穴）と中世の城館跡の複合遺跡で、調査区最大で四面に庇をもつ客人をもてなすことのできるような格の高い建物跡が発見されたということです。また小高い尾根の上に位置することで、山城特有の防御施設（堀切、土塁など）も作られていました。これらの遺跡は、過去の津波災害に影響を受けなかったであろう高い場所にあります。

三陸道を車で走りながら見える景色には、地質による山の形の違いもありますが、道路の下に埋蔵されているその土地の歴史を知ると５億年の大地の歴史を感じることのできる三陸で、自然と向き合いながら暮らしてきた人々の知恵や文化にますます関心が湧いてきます。（調査についての詳細は下記サイトをご覧ください）

（公財）岩手県文化振興事業団　埋蔵文化財センター
http://www.iwate-maibun.jp/excavations2014/321fushitsudate

復興道路・復興支援道路情報サイト (mlit.go.jp)
https://www.thr.mlit.go.jp/road/fukkou/content/update/index.html#iwate

発掘現場にいくの巻～野田村・伏津館跡 - 野田村通信ブログ
https://blog.noda-kanko.com/2014/0718_143100.html

（いずれも参考文献）

《岩手県立博物館に展示されていた野田村伏津館跡のコーナー》
＊現在はありません

《遺跡調査の当時の様子》

＊写真提供
（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

「豊間根川チャート・砕屑岩シーケンス」
～山田町ジオサイト視察～

かなりの高さで豊間根川チャートや砕屑岩が確認できる

豊間根川に沿ってしばらく山道を登っていくと、右側に２億年前のジュラ紀の世界とつながる地層に出会います。地層が１センチ堆積するまでに数万年という非常に長い時間がかかるというガイドさんのお話にしばし感無量となりました。

https://sanriku-geo.com/geosite/65/

3cmくらいの層がきれいに重なっている

三陸ジオパーク・現地推進員が記者となってお伝えするコーナー

毎回いろいろな情報を掲載いたしますので、どうぞお楽しみに！

今回の記者：町田　恵太郎（いわて復興応援隊／久慈事務所配置）

《階上早生そばとみちのく潮風トレイル》

　三陸ジオパーク北部に位置する青森県階上町は、いちご煮で有名ですが、蕎麦も名物なのはご存知でしょうか？

　階上町も夏になると太平洋側から吹く冷たい風（やませ）の影響で、その昔は穀物が育ちにくく飢餓に悩まされていた地域でした。
　寒さに強いそばの品種「階上早生（はしかみわせ）」は、大正4年の大凶作の時でさえある程度の収穫量があり、蕎麦が人々を救ってくれたのことです。

　そして今回は、その階上早生を栽培しているそば畑のど真ん中を通る「みちのく潮風トレイル」も合わせてご紹介したいと思います。
　みちのく潮風トレイルは、青森県八戸市から岩手県や宮城県の沿岸を通り福島県相馬市まで続く、約1,000kmのロングトレイルです。
　トレイルとは歩くための道という言葉のとおり、車移動では味わえないゆっくりとした時間で地域を見ることができます。
　三陸ジオパークの楽しみの1つである、その土地の歴史や自然などを深く知ることが出来ますので、是非みちのく潮風トレイルと三陸ジオパークを一緒に楽しんでみてください。（そば畑のある茨島休憩所は、階上町で有名なトチの巨木の近くにあります）

所有者のご協力で実現できた道だそうです

知らないとそば畑と気付かないですね

8月中旬には芽が出ていました

《階上岳から見るジオパーク》

　今回は空からではなく階上町のジオサイトである階上岳から撮影をしました。
　奥には大きくカーブしている八戸港の海岸線や八戸キャニオンと、うっすらと蕪島も見えます。
　階上岳はみちのく潮風トレイルのルートでもあり、登山客など多くの人たちが歩いています。
　階上早生そばは階上岳近くのフォレストピア階上でも食べることができますよ！

フォレストピア階上➡
https://foresthashikami444.wixsite.com/my-site-5

編集後記：
　震災から11年。 3月になると取材も増えて毎年この時期は、あの日あの時にそれぞれ思いを馳せる機会になります。私の住む地域の地盤は岩なのでとても固いと聞いたのですが、自宅で感じた地震の揺れ方はまさにそれを物語るような"大きな地響き"が、とにかく長く続いた…　でも2㌔も離れていない海に近い場所ではかなり激しく揺れたそうです。調べるとその辺りは昔、干潟や田んぼで地盤が軟弱な場所でした。地域の歴史を知ることはジオにつながっていますね。（と）

三陸ジオパーク推進協議会
〒027-0072
岩手県宮古市五月町1－20（宮古地区合同庁舎2階）
TEL:0193-64-1230
FAX:0193-64-1234
info@sanriku-geo.com
http://sanriku-geo.com/